

平成31年度文化芸術による子供の育成事業-巡回公演事業-公演団体一覧

【C区分団体】

ブロック	分野	種目	公演団体名	対象学年				企画名	演目	複数年度実施
				小(低)	小(中)	小(高)	中			
C・D・E	音楽	オーケストラ等	公益財団法人 東京フィルハーモニー交響楽団	○	○	○	-	オーケストラ公演 <東京フィルがやってきた！>	アンダーソン：舞踏会の美女 ブラームス：ハンガリー舞曲第5番 他	
D・E	伝統芸能	歌舞伎・能楽	一般社団法人京都能楽囃子方同明会	○	○	○	○	音楽として聴く能「囃子堂」	1. 始まりの挨拶と能楽の歴史の紹介 2. 各楽器解説 3. 早番 他	

【A区分・B区分団体】

D	音楽	オーケストラ等	群馬交響楽団	○	○	○	○	オーケストラの魅力大発見！一緒に歌おう・奏でよう！！	ロッシェニ／歌劇「ウィリアム・テル」序曲から「スイス軍の行進」 シュトラウスⅡ世／ワルツ「春の声」作品410 他	
D	音楽	オーケストラ等	東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団	○	○	○	○	<<東京シティ・フィルと一緒にオーケストラの響きを楽しもう！>>	【小学校プログラム】◆ビゼー／歌劇「カルメン」より前奏曲 ◆モーツァルト／アイネ・クライネ・ナハトムジークより第1楽章 【中学校プログラム】◆ロッシェニ／歌劇「ウィリアム・テル」より「スイス軍の行進」 他	
D	演劇	児童劇	劇団 仲間	○	○	○	○	舞台劇「小さい“つ”が消えた日」	「小さい“つ”が消えた日」 原作：ステファノ・フォン・ロー 脚本／演出 鈴木雄太	
D	演劇	児童劇	オペレッタ劇団ともしび	○	○	○	○	「トラの恩がえし」	オペレッタ「トラの恩がえし」 原作 韓国・朝鮮民話 脚本：中西明＋韓国・朝鮮と日本チーム 演出：大野奉則＋韓国・朝鮮と日本チーム	
D	演劇	演劇	株式会社 劇団影法師	○	○	○	○	中国影絵人形劇（皮影戯）「西遊記—三打白骨精の巻—」	「西遊記—三打白骨精の巻—」 原作：吳承恩／脚色：馬鉄漢・閻澄一輝／演出：柴廣義	
D	演劇	演劇	公益財団法人 江戸糸あやつり人形結城座	○	○	○	○	「宮沢賢治の写し絵劇場～注文の多い料理店～」	「宮沢賢治の写し絵劇場～注文の多い料理店～」 原作 宮沢賢治 演出 加藤直	
D	演劇	ミュージカル	オペラシアターこんにやく座	○	○	○	-	オペラ『口はロボットの口』	オペラ『口はロボットの口』	H29 (継続)
D	舞踊	現代舞踊	ナチュラルダンスアトル	○	○	○	○	『さーかす』	『さーかす』 構成・演出・振付：中村しんじ 振付：川野真子	
D	伝統芸能	歌舞伎・能楽	公益財団法人 鎌倉能舞台	○	○	○	○	【字幕解説付き】わかりやすい能・狂言鑑賞体験教室～日本の伝統文化を知ろう～	「柿山伏（かきやまぶし）」、「能 小鍛冶（こかじ）」 他	
D	伝統芸能	演芸	カンジャヤマ・マイム	○	○	○	○	おしゃべりなバントマイム	「おしゃべりなバントマイム」 脚本、演出、藤倉健雄 振付、藤倉健雄	

※複数年度実施欄に「H29」の記載がある団体は平成29年度から、「H30」の記載がある団体は平成30年度から、「H31」の記載がある団体は平成31年度から3年間同じブロックで公演を行う団体です。

※<http://www.kodomogetijutsu.go.jp/junkai/kouen.html>から、団体のホームページや現在実施されている当初公演の情報を閲覧することができます。

平成31年度「文化芸術による子供の育成事業」出演希望調書(実演芸術)

種 目(いずれかに をつけて下さい。)

【音 楽】	合唱 <u>オーケストラ等</u> 音楽劇
【演 劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞 踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, を付してください。

A区分のみ ・ A区分とB区分の両方 ・ C区分

複数申請の有無(該当する方に を付してください。)

あり ・ なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
 (3) 提案したいいずれか1企画のみ実施可能
 (4) その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	こうえきざいだんほうしん とうきょうふいるはーもにーこうきょうがくだん ----- 公益財団法人 東京フィルハーモニー交響楽団		
代表者職・氏名	理事長 三木谷 浩史		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒163-1408 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー8F (京王新線 初台駅)		
電話番号	03-5353-9521	F A X 番号	03-5353-9523
ふりがな 公演団体名	こうえきざいだんほうしん とうきょうふいるはーもにーこうきょうがくだん ----- 公益財団法人 東京フィルハーモニー交響楽団		
代表者職・氏名	理事長 三木谷 浩史		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒163-1408 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー8F (京王新線 初台駅)		
制作団体 設立年月	明治44年3月	団体構成員及び加入条件等	
制作団体 組織	役 職 員 [理事長] 三木谷浩史 [副理事長] 黒柳徹子 [専務理事] 石丸恭一 [常務理事] 工藤真実 [理事] 浮舟邦彦 大賀昭雄 大塚雄二郎 岸暁 篠澤恭助 田沼千秋 寺田琢 遠山敦子 野本弘文 韓昌祐 平井康文 宮内義彦 [監事] 岩崎守康 山野政彦 [評議員] 11名 [事務局] 22名		
事務体制の担当	専任 ・ <u>他の業務と兼任</u>	本事業担当者名	事業部 大谷絵梨奈
経理処理等の 監査担当の有無	<u>有</u> ・ 無	経理責任者名	鈴木美絵

制作団体沿革	<p>明治43年に名古屋に発足した音楽隊を母体として、昭和13年12月に「中央交響楽団」を結成。昭和23年4月に「東京フィルハーモニー交響楽団」となり、昭和27年12月1日に財団法人として認可を受ける。平成24年4月1日に公益財団法人へ移行。日本で最も長い100余年の歴史をもち、約130名のメンバーでシンフォニーオーケストラとオペラ等の劇場オーケストラの両機能を併せもつ日本を代表するオーケストラ。「定期演奏会」や「午後のコンサート」「第九特別演奏会」などの主催公演の他、新国立劇場のレギュラーオーケストラとしてのオペラ・バレエ演奏、NHK や民放における放送演奏などによりホールに来場できない国内外の聴衆に音楽を提供しています。年間約400公演程の高水準の演奏活動とさまざまな教育的活動を展開し、クラシック音楽の普及に努めています。</p>		
学校等における公演実績	<p><u>音楽鑑賞教室</u> 教育委員会の委託による「音楽鑑賞教室」を毎年20公演程度開催。</p> <p><u>提携事業</u> 東京都文京区、千葉県千葉市、長野県軽井沢市、新潟県長岡市との提携事業の一環として、青少年向けのワークショップ・公演を開催。</p> <p><u>子ども向け自主公演</u> 2002年～2013年、自主事業「こども音・楽・館」を実施。新宿区、渋谷区等近隣区域の小学校において(養護学校含む)アウトリーチも行いました。</p> <p><u>文化庁巡回公演事業</u> ・平成25年度「次代を担う子どもの文化芸術体験事業」において16校で公演を実施した。 ・本事業のB区分採択となった平成26年度「文化芸術による子供の育成事業」以降5年間に渡り北海道・北東北地域を担当。東日本大震災の被災地域を含め、のべ99校で公演を実施。B区分採択の業務である、事業の広報活動も積極的に展開し、各地域の教育委員会と連携し応募団体増加へ貢献した。また、一般の方々へ事業の告知として、地域新聞社やTV局へのアプローチに力を入れ広報宣伝活動へ従事し大きな成果を挙げました。</p>		
特別支援学校における公演実績	<p><u>平成26年度</u> 「文化芸術による子供の育成事業(巡回公演事業)」にて、2校実施。 実施校:北海道白糠養護学校(釧路市)、岩手県立宮古恵風支援学校(宮古市)</p> <p><u>平成27年度</u> 長岡市との提携事業の一環として実施。対象:新潟県立長岡聾学校 東京都民間オーケストラ教育プログラム「東京都内に於ける特別支援学校コンサート」 実施校:東京都立光明特別支援学校</p> <p><u>平成28年度</u> 東京都民間オーケストラ教育プログラム「東京都内に於ける特別支援学校コンサート」 実施校:東京都立清瀬特別支援学校</p> <p><u>平成29年度</u> 「Music Program TOKYO」特別支援学校におけるオーケストラ公演 実施校:東京都立王子特別支援学校 長岡市との提携事業の一環として実施。 対象:長岡市立総合支援学校、長岡市立高等総合支援学校</p> <p><u>平成30年度</u> 「Music Program TOKYO」特別支援学校におけるオーケストラ公演 実施校:東京都立白鷺特別支援学校</p>		
参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	(有) ・ 無
申請する演目のDVDまたはWEB公開資料		(有) ・ 無	
公開資料有の場合 URL		DVDを提出いたします	
閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード		ID: PW:	
Aの提出が困難な場合		今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料	有 ・ 無
		公開資料有の場合 URL	
		閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID: PW:

公演・ワークショップの内容

【公演団体名:東京フィルハーモニー交響楽団】

対象	小学生(低学年・中学年・高学年)・中学生		
企画名	オーケストラ公演 <東京フィルがやってきた!>		
本公演演目	<ul style="list-style-type: none"> ・オープニング アンダーソン: 舞踏会の美女 ・楽器紹介(弦楽器、木管楽器、金管楽器、打楽器の紹介) アンダーソン楽曲より ・指揮体験 ブラームス: ハンガリー舞曲第5番 ・ワークショップ : オケストラと身体を動かしてみよう!(体感する音楽体験=ボディパーカッション) シャーマン兄弟: It's a small world ベートーヴェン: 交響曲第5番「運命」より第1楽章抜粋(2020年ベートーヴェン生誕250年) ・ワークショップ : 日本唱歌を歌ってみよう!(日本の歌の魅力を再発見) 成田為三: 浜辺の歌 など 各校校歌 ・鑑賞 学校が選曲した楽曲の演奏(以下の中から選曲) ロジャース: サウンド・オブ・ミュージックより ムソルグスキー: 展覧会の絵 ドヴォルザーク: 交響曲第九番「新世界より」から第4楽章 ・アンコール : J.シュトラウス: ラデッキー行進曲 <p style="text-align: right;">公演時間(90分)</p>		
著作権	制作団体が所有	制作団体以外が所有する事項が含まれる	(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合)許諾の有無
演目概要	<p>70名からなるオーケストラの編成から、各セクション最小限の楽器数を取り出した小編成のオーケストラで演奏します。大編成のオーケストラでは気付かないような音と音との重なりや楽器の特徴などが分かりやすく、楽曲についても理解を深めることができます。多角的なアプローチとコラボレーションによって、クラシック音楽を「体感」できるプログラムです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オープニング: これから始まる演奏会に児童の期待が高まるような華やかな音楽で開演します。 ・楽器紹介: 各楽器の音の出る仕組みや特徴をわかりやすく説明した後、弦楽器・木管楽器・金管楽器・打楽器がフィーチャーされた曲を演奏します。 ・指揮体験: 耳馴染みのある演目で、オーケストラの指揮者の役割に挑戦、体験してもらいます。 ・ワークショップ : オケストラと身体を動かしてみよう!(体感する音楽体験=ボディパーカッション) クラシックの名曲である「運命」に合せたボディパーカッションをオーケストラの演奏に合わせて共演し、「聴く」だけではなく、身体表現と関連付けて「体感」する事により、相互の関係から理解を深めることができます。 ・ワークショップ : 唱歌を歌ってみよう!(日本の歌の魅力再発見) 「2020年東京オリンピック・パラリンピック」を2年後にひかえ、海外からの日本文化へ注目が集まる中、日本では「日本の芸術文化を見直し、世界へ発信」する動きが高まっています。日本唱歌は、明治維新後、西洋音楽を取り入れ学校の音楽教育のために作られ、100年経った今もなお、歌い継がれています。改めて紐解く事で、子供たちに美しい日本の言葉とその音楽の魅力を伝えます。また、児童にとって最も身近な歌である「校歌」を、歌詞の内容を理解して歌う重要性を認識しながら、豪華なオーケストラアレンジと共に歌います。これらの体験を通して、言葉を大切に感情込めて歌う心を養い、本物のオーケストラサウンドを体感し、感性豊かな心を育成します。 ・鑑賞: 各学校の教育方針に合せ、鑑賞教材を各学校に選曲していただきます。 ・アンコール: オケストラの演奏に合わせて手拍子をし、テンポや強弱などを体感します。会場全員でのアンコール演奏によって会場が一体となり、本演奏会が締めくくられます。 		
演目選択理由	日本の西洋音楽教育の原点ともいえるクラシック作品を中心に選曲しました。これらの作品を通し、楽器紹介・指揮体験コーナーを含め、オーケストラと音楽をより身近に体感し、興味を持っていただけるように工夫しております。		
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	<ul style="list-style-type: none"> ・指揮体験コーナー 各校2~3名の児童に、ベートーヴェン: 交響曲第5番「運命」第1楽章の一部分を指揮し、オーケストラをとり仕切るマエストロ(指揮者)の役割を体験してもらいます。 ・ボディパーカッション 音楽の原点である打楽器を身体で表現することで、音楽への新たな興味を促します。 ・日本の唱歌を歌ってみよう! 成田為三: 「浜辺の歌」などの唱歌の歌詞を再認識し、オーケストラと共演し、豊かな感性を育てます。 		
出演者	<p>指揮者: 三ツ橋敬子 他 司会: 山本愛香、塚本江里子 他 管弦楽: 東京フィルハーモニー交響楽団ミニオーケストラ 楽団員は別紙「東京フィルハーモニー交響楽団楽団員名簿」を参照下さい。</p>		
公演出演予定者数(1公演あたり)	<p>出演者: 21名 スタッフ: 3名 合計: 24名</p>	<p>機材等 運搬方法</p>	<p>積載量 2tまたは4t 車長 6m 台数 1台</p>

公演に当たっての 会場条件	実施条件等確認書 をご確認ください。					
会場設営の所要 時間(タイムスケ ジュール)の目 安	前日仕込み(有・無) 会場設営の所要時間(1.5~2時間程度)					
	到着	仕込み/リハーサル	本公演	内休憩	撤去	退出
	9時	9時~10時/12時~13時	14時~15時半	0分	15時半~16時半	17時
本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。 本公演前にリハーサルがある場合の仕込み時間を想定。						
児童・生徒 の参加可能人数	ワークショップ	20~400名程度まで対応可能です。(全学年対応)				
	本公演	20~400名程度まで対応可能です。(全学年対応)				
ワークショップ 実施形態 及び内容	1)ミニ・コンサート オーケストラや楽器の話を交えながら、本物の楽器の音色や歌唱を聴いていただきます。 2)自己表現:カラダと音楽 音楽を通して表現すること、音楽と身体表現を体感します。 3)日本の唱歌を歌おう:言葉と音楽 日本の唱歌の歌詞を理解し、言葉と音楽の関係と唱歌の魅力に迫ります。					
ワークショップ 実施形態の意図	小さな編成で音楽を鑑賞することで、解体された個別の音から、音楽への理解を深めるだけで なく、ハーモニー(協調性)の大切さを知る機会となります。また、音楽に合せたボディパーカッ ション(音楽と身体表現)や、日本唱歌を歌う(音楽と言語表現)等の体験が、「創造力、発想 力、コミュニケーション能力」の育成と、「連携・協働・共有」の体験の場となることを目指します。					
特別支援学校で の実施における 工夫点	演奏時間や共演内容を学校ごとに綿密に打ち合わせさせていただき、学校の特色に合わせ、 児童生徒への負担が大きくなるように留意しながら、最大の効果を生む公演を行えるよう、 様々な点で調整します。また、児童生徒の皆様と積極的に交流を図ってまいります。					
実施可能時期 はB区分申請 団体のみ	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。					

東京フィルハーモニー交響楽団 出演表

コンサートマスター 三浦 章宏、近藤 薫、依田 真宣

第1ヴァイオリン	ヴァイオラ	フルート	トランペット
小川 響子	須田 祥子	神田 勇哉	川田 修一
小島 愛子	須藤 三千代	齊藤 和志	古田 俊博
栃本 三津子	高平 純	吉岡 アカリ	杉山 眞彦
平塚 佳子	加藤 大輔	さかはし 矢波	前田 寛人
浅見 善之	伊藤 千絵	十亀 有子	
浦田 絵里	岡保 文子	名雪 裕伸	
加藤 光	曾和 万里子		トロンボーン
坂口 正明	高橋 映子		五箇 正明
佐藤 実江子	手塚 貴子	オーボエ	中西 和泉
鈴木 左久	中嶋 圭輔	荒川 文吉	辻 姫子
高田 あきの	蛭海 たづ子	加瀬 孝宏	石川 浩
田中 秀子	古野 敦子	佐竹 正史	平田 慎
津田 好美	村上 直子	佐藤 麻咲	山内 正博
中澤 美紀	森田 正治	杉本 真木	
中丸 洋子		三谷 真紀	
二宮 純		若林 沙弥香	チューバ
廣澤 育美	チェロ		大塚 哲也
弘田 聡子	金木 博幸	クラリネット	荻野 晋
松田 朋子	服部 誠	テョ・スンホ	
	渡邊 辰紀	アレクサンドロ・ペヴェラリ	ティンパニ&パーカッション
第2ヴァイオリン	高麗 正史	万行 千秋	岡部 亮登
戸上 眞里	石川 剛	荒井 伸一	塩田 拓郎
藤村 政芳	大内 麻央	黒尾 文恵	高野 和彦
水鳥 路	太田 徹	林 直樹	木村 達志
宮川 正雪	菊池 武英		幸西 秀彦
山内 祐子	佐々木 良伸		鷹羽 香緒里
石原 千草	長谷川 陽子	ファゴット	縄田 喜久子
出原 麻智子	渡邊 文月	大澤 昌生	船迫 優子
印田 千裕		チェ・ヨンジン	古谷 はるみ
太田 慶	コントラバス	廣幡 敦子	
葛西 理恵	黒木 岩寿	井村 裕美	ハープ
黒沢 誠登	小笠原 茅乃	桔川 由美	梶 彩乃
黒田 玲	遠藤 柁一郎	森 純一	田島 緑
榊原 菜若	岡本 義輝	吉澤 真一	宮原 真弓
高木 菜月	熊谷 麻弥		
二宮 祐子	菅原 政彦	ホルン	
原田 亮子	田邊 朋美	磯部 保彦	
山代 裕子	戸谷 翔太	齋藤 雄介	
吉田 智子	三好 美和	高橋 臣宜	
吉永安希子		今井 彰	
若井 須和子		大東 周	
渡邊 みな子		木村 俊介	
		田場 英子	
		塚田 聡	
		古野 淳	
		山内 研自	
		山本 友宏	

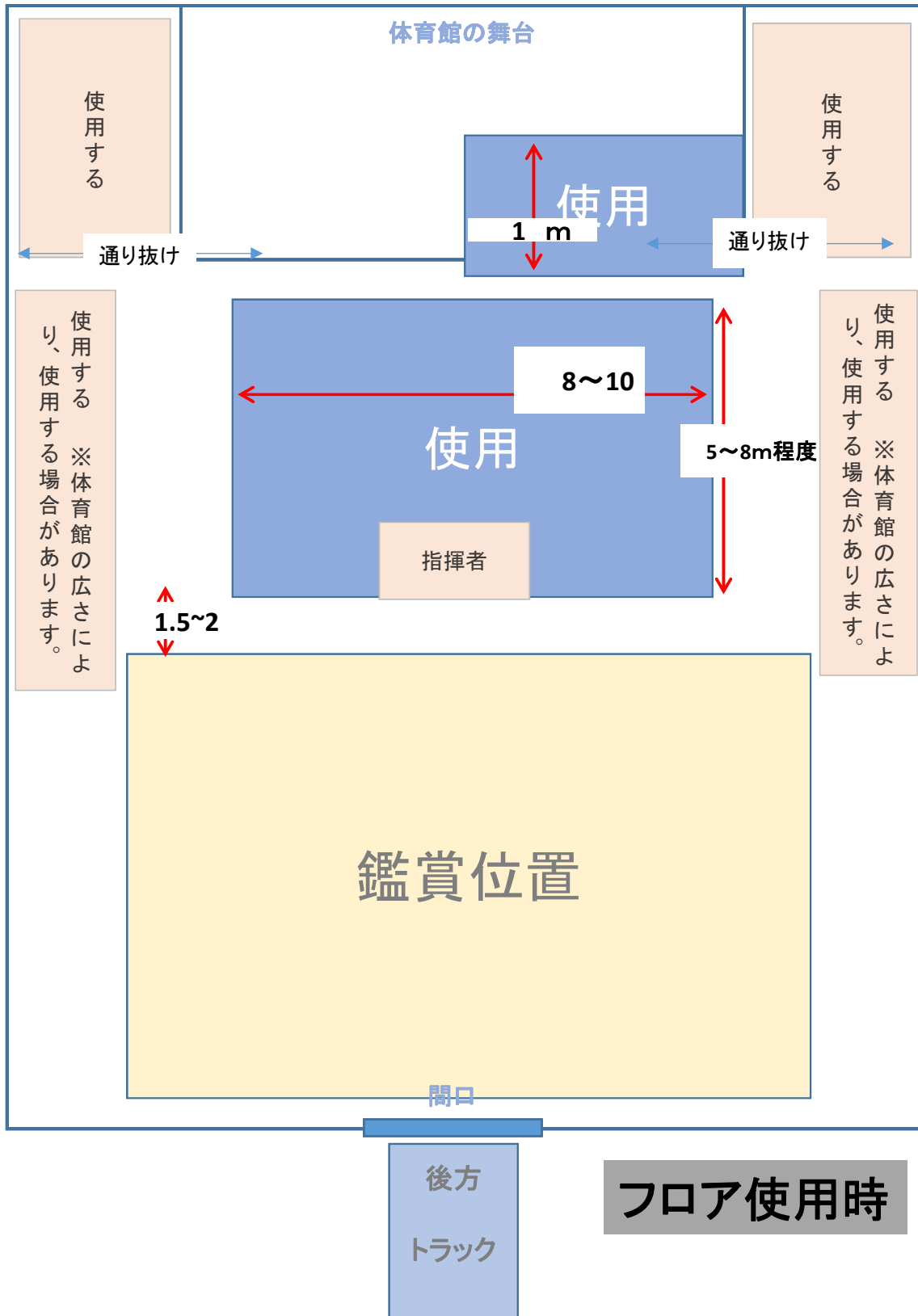
【平成31年度文化芸術による子供の育成事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	K119	分野	音楽	種目	オーケストラ等	ブロック	C・D・E	区分	C区分
公演団体名	公益財団法人 東京フィルハーモニー交響楽団			制作団体名	公益財団法人 東京フィルハーモニー交響楽団				

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等								
控室について	不可	必要数 *	5室	条件	指揮者1室、司会者1室、コンサートマスター1室 オケ男性・オケ女性各1室(着替えがあるため)					
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数 *			2t又は 4tトラック	1台	大型バス			1台
	可				乗用車	5台程度				
	可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			2t又は4tトラック(幅2m22cm 長さ7m75cm 高さ3m33cm)					
	可	搬入車両の横づけの要否 *			要					
	可	横づけができない場合の搬入可能距離 *			問わない					
	不可	搬入経路の最低条件			できる限りフラットで階段のない経路を希望します 雨風が当たらない屋根のある経路を希望します					
	/	理由			ティンパニやハーブなど大型楽器搬入のため 搬入時間を最短にするため					
	可	設置階の制限 *			エレベーターの設置等があれば2階以上も可					
	不可	搬入間口について 単位:メートル		幅	2m		高さ	2m		
WSについて	可	参加可能人数			400名程度まで					
	可	学年の指定の有無 *			なし	指定学年 *		できる限り全学年		
	不可	所要時間の目安 単位:分			90分程度(公演時間が押さないよう、途中休憩はなし)					
	可	ピアノの調律・移動の要 否		指定位置へのピアノの 移動 *	要	※指定位置は会場設置図面に て御確認ください。				
	可			ピアノの事前調律 *	可能であればお願いします。					
本公演について	/	会場設営・本公演・メインプログラムの 所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイム スケジュール)の目安をご参照ください。					
	不可	鑑賞可能人数			400名程度まで					
	不可	舞台設置場所 *			ステージ上・フロアの両方					
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	8~10m	奥行	5~8m	高さ	指定なし	
	可				舞台袖スペースの確保 *		要			
	可	体育館の舞台を使用する 場合の条件			舞台袖スペースの条件 *		楽器ケース等が置けるスペース確保ができる状態			
	-				緞帳 *	不要		パトン *	不要	
	-	遮光(暗幕等)の要否 *			不要	理由		-		
	-	ピアノの調律・移動の要 否		指定位置へのピアノの 移動 *	不要	※指定位置は会場設置図面に て御確認ください。				
	-			ピアノの事前調律 *	-					
	可	フロアを使用する場合の 条件		バスケットゴールの設 置状況 *	可能であれば収納した状態でお願います。					
	-	公演に必要な電源容量			-		※主幹電源の必要容量			
	その他特記事項									
	不可	冬時期に開催予定の場合は、会場と控え室にヒーターの手配をお願いする事があります。								

本公演会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	2m	高さ	2m
搬入車両の横づけの可否	要			
横づけができない場合の搬入可能距離	問わない(ただし室内を移動できること、段差が無いと尚良い)			

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

VI 平成31年度「文化芸術による子供の育成事業」出演希望調書(実演芸術)

種 目 (いずれかに○をつけて下さい。)

【音 楽】	合唱, オークストラ等, 音楽劇
【演 劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞 踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

A区分のみ ・ A区分とB区分の両方 C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

 あり ・ なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
 (3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
 (4) その他()


芸術文化団体の概要

ふ り が な 制作団体名	いっばんしゃだんほうじんきょうとうがくはやしかたどうめいかい ----- 一般社団法人京都能楽囃子方同明会														
代表者職・氏名	理事長 武田市和														
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒616-8372 京都市右京区嵯峨天龍寺広道町10-10 前川方 (JR 嵯峨嵐山駅)														
電 話 番 号	075-863-5120	F A X 番 号	075-320-1580												
ふ り が な 公演団体名	いっばんしゃだんほうじんきょうとうがくはやしかたどうめいかい ----- 一般社団法人京都能楽囃子方同明会														
代表者職・氏名	理事長 武田市和														
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒616-8372 京都市右京区嵯峨天龍寺広道町10-10 前川方 (JR 嵯峨嵐山駅)														
制 作 団 体 設 立 年 月	1918年12月	団体構成員及び加入条件等													
制 作 団 体 組 織	<table border="1"> <tr><th colspan="2">役 職 員</th></tr> <tr><td>理事長</td><td>武田市和</td></tr> <tr><td>理事</td><td>左鴻泰弘</td></tr> <tr><td>理事</td><td>吉阪一郎</td></tr> <tr><td>理事</td><td>成田有辞</td></tr> <tr><td>理事</td><td>前川光範</td></tr> <tr><td>監事</td><td>西村保美</td></tr> </table>			役 職 員		理事長	武田市和	理事	左鴻泰弘	理事	吉阪一郎	理事	成田有辞	理事	前川光範
役 職 員															
理事長	武田市和														
理事	左鴻泰弘														
理事	吉阪一郎														
理事	成田有辞														
理事	前川光範														
監事	西村保美														
事務体制の担当	専任 ・ <input checked="" type="radio"/> 他の業務と兼任	本事業担当者名	谷口正壽												
経理処理等の 監査担当の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無	経理責任者名	成田有辞												

制作団体沿革	<p>大正7年、在京都の能楽囃子方が集まり「同盟会」を立ち上げました。戦中戦後の混乱期に一時自然解散しましたが、昭和30年「同和会」として再出発しました。以後、毎年1回囃子方ならではの公演に取り組み、昭和61年に、名称を「同明会」に改めました。平成15年より8年間、能楽囃子の音楽性にスポットを当てた、「囃子堂」公演にも取り組み、「同明会能」とあわせて毎年2回の公演を行ってきました。平成24年10月に一般社団法人京都能楽囃子方同明会として法人を設立。25年度よりワークショップを中心とした学校公演や、子ども達だけで実演する、こども能楽囃子教室など次世代に能楽の魅力を伝える活動を展開しています。</p>		
学校等における公演実績	<p>28年度 「こども能楽囃子教室」2公演 「能楽囃子講座」1公演 29年度 「こども能楽囃子教室」2公演 「能楽囃子講座」1公演 「囃子堂」2公演 30年度 「こども能楽囃子教室」2公演 「能楽囃子講座」1公演</p>		
特別支援学校における公演実績	<p>27年度 青森県立若葉養護学校 28年度 長崎県立虹の原特別支援学校 30年度 福島県立相馬支援学校</p>		
参考資料の有無	A	<p>申請する演目のチラシパンフレット等 申請する演目のDVDまたはWEB公開資料 ※公開資料有の場合 URL ※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>有 ・ 無 有 ・ 無 ID: PW:</p>
	Aの提出が困難な場合	<p>今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料 ※公開資料有の場合 URL ※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>有 ・ 無 ID: PW:</p>

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 一般社団法人京都能楽囃子方同明会】

対 象	小学生(低学年・中学年・高学年) ・ 中学生		
企画名	音楽として聴く能「囃子堂」		
本公演演目 原作／作曲 脚 本 演出／振付	1. 始まりの挨拶と能楽の歴史の紹介 2. 各楽器解説 3. 早笛 4. カケ声で表現してみよう 5. 能楽囃子の表現法(大ベシ・流シ) 休憩 6. 三番三共演 7. 融舞返 8. 獅子 9. 終わりの挨拶と質問コーナー 公演時間(95分)		
著作権	制作団体が 所有	制作団体以外が所有する事 項が含まれる	(制作団体以外が所有す る事項が含まれる場合) 許 諾の有無
演 目 概 要	<p>能楽の音楽性にスポットを当てた、ライブ感覚の公演です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 始まりの挨拶と能楽の歴史の紹介 …居住まいを正し、きちんと挨拶をしたあと、能楽の概要や歴史をわかりやすく説明します。 2. 各楽器解説…各楽器の説明をして、能囃子の音楽としての魅力を解説します。 3. 早笛…龍神や鬼が登場する際に演奏される軽快で、ハイテンポな登場の音楽です。  <ol style="list-style-type: none"> 4. カケ声で表現してみよう…能楽囃子の特徴であるカケ声を体験して頂きます。カケ声のかけ方でどんな感じに聞こえるのか、間の取り方がどんな風になるのかを体験します。 5. 能楽囃子の表現法(大ベシ・流シ)…大ベシは早笛と同じ旋律・リズムパターンですが、テンポが極端にゆっくりで、力強く超高速での移動を表現します。早笛と比較することで能楽囃子の表現法を学びます。流シでは、互いの気を感じて打つ能楽囃子の最高技法を体験します。 <p>休憩 希望者は小鼓と大鼓を体験できます。(ふれあいタイム)</p> <ol style="list-style-type: none"> 6. 三番三共演…翁に付随する狂言の舞曲です。大変めでたい曲で、同じリズムを繰り返して演奏します。児童・生徒と共演することで会場全体が一体となる楽しい演奏としたいと思います。 		

	<p>7. 融舞返…高貴かつ優雅な舞曲です。リズム、ノリの変化に富み、高い演奏技術が要求される楽曲で、大変緩急の激しいテクニカルな曲です。</p> <p>8. 獅子…文殊菩薩の霊獣獅子の舞曲です。静と動・間合のやりとり・気迫が充実した曲で、これぞ能楽囃子の真髄と言えます。</p> <p>9. 終わりの挨拶と質問コーナー…様々な疑問にお答えします。最後に始まりと同じく、居住まいを正して、きちんと挨拶をします。</p>			
<p>演目選択理由</p>	<p>能楽は、演劇・舞踊・音楽・文学・美術など様々な要素が入った、総合芸術です。この公演は能楽の音楽である、囃子にスポットを当て、独自の音楽性を紹介します。</p> <p>内容は、大人が聞いても十分に満足のいく芸術性の高い曲ばかりで、退屈しないようテンポの速く軽快な「早笛」、ゆったりと重厚な「大ベシ」、気迫が充実した「獅子」などを織り交ぜ、能楽囃子の魅力をわかりやすく伝えられるように選曲しました。</p> <p>児童生徒との共演曲「三番三」は同じリズムの繰り返しなので児童生徒でも演奏しやすいことから選びました。</p> <p>「融舞返」は、演奏者同士がカケ声や間合・呼吸によってコミュニケーションをとりながら演奏をすることを、わかりやすく伝えられるように選びました。</p> <p>この公演は、特に能楽囃子の魅力が感じられる演目ばかりです。とすれば難解と言われる能楽でも、音楽である囃子ならば理解と言うものを必要とせず、純粹に見て聞いて面白いと感じて頂けます。</p> <p>能楽囃子は、わずか4人で30人のオーケストラに匹敵するといわれます。その力の源は「気迫」にあります。「気迫」とは、見える物ではなく、聞こえる物でもなく、感じるものです。この、目には見えない、耳には聞こえない「何か」を感じとることで、現代日本人が忘れてしまった五感以外の感覚を呼び覚まし、子ども達の感性を育みたいと思います。</p> <p>能楽の「魅力」「迫力」を存分に伝え、西洋の「ド・レ・ミ」(絶対の音楽)とは全く違う、日本独自の能楽(相対の音楽)の素晴らしさが伝わる公演にしたいと思います。</p>			
<p>児童・生徒の共演，参加又は体験の形態</p>	<p>児童生徒共演のコーナーでは、児童生徒達は、ワークショップで体験した「三番三」の小鼓を打ちます。事前に選抜した1組5名の児童生徒が、実際に楽器を持ち、小鼓を打ちます。この時、出演能楽師の笛、大鼓が加わります。選ばれなかった児童生徒達も、エア小鼓(手拍子)で参加し、全員でカケ声をかけて、会場全体での共演となります。</p> <p>カケ声で表現してみようでは、能楽囃子の基本である、カケ声を全員で体験します。</p> <p>休憩中に、希望者は小鼓と大鼓の体験ができます。直にふれあうことで、児童生徒達と能楽師の距離を縮めたいと思います。</p>			
<p>出演者</p>	<p>笛 杉市和、森田保美、左鴻泰弘、杉信太郎の内1名 小鼓 吉阪一郎、曾和鼓堂、林大和、林大輝、唐錦崇玄の内1名 大鼓 河村 大、石井保彦、谷口正壽、井林久登、渡部諭の内1名 太鼓 前川光長、井上敬介、前川光範の内1名 案内人 谷口正壽、渡部諭、唐錦崇玄の内1名 (太字は重要無形文化財総合指定保持者) 計5名</p>			
<p>公演出演予定者数 (1公演あたり)</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center; width: 50%;"> <p>出演者:5名 <u>スタッフ:1名</u> 合計:6名</p> </td> <td style="text-align: center; width: 20%;"> <p>機材等 運搬方法</p> </td> <td style="text-align: center; width: 30%;"> <p>積載量 700kg 車長 4.8 m 台数 1台</p> </td> </tr> </table>	<p>出演者:5名 <u>スタッフ:1名</u> 合計:6名</p>	<p>機材等 運搬方法</p>	<p>積載量 700kg 車長 4.8 m 台数 1台</p>
<p>出演者:5名 <u>スタッフ:1名</u> 合計:6名</p>	<p>機材等 運搬方法</p>	<p>積載量 700kg 車長 4.8 m 台数 1台</p>		

【公演団体名 一般社団法人京都能楽囃子方同明会】

公演に当たっての会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安	前日仕込み(有・ 無) 会場設営の所要時間(0.5 時間程度)					
	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
	時	11:30-12:00	13:30-15:05	10分	15:30-15:50	16:00
※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。						
児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	150名				
	本公演	800名				
ワークショップ実施形態及び内容	<p>公演当日に共演する「三番三」の小鼓を指導します。</p> <p>能楽という日頃見ることのない芸術を親しみやすく伝えるため、それぞれの専門家である、小鼓方・笛方・大鼓方(全員能楽師)の計3名でワークショップをします。なぜカケ声を掛けるのか、正座をして演奏するのか、そして何が必要なのかを解説します。カケ声をかけるのを恥ずかしがる子が多いと思われまので、まずは声を出す練習に力を置きます。</p> <p>能楽は日常の稽古が大切です。ワークショップ終了後に、小鼓の構え方、打ち方の練習用に“MY小鼓”(小鼓のレプリカ)をお貸しします。それを使って繰り返し練習してもらいます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 始まりの挨拶…居住まいを正し、きちんと挨拶します。 2. 能楽ってなあに?…能楽の構成や特徴をわかりやすく説明します。 3. 小鼓ってどんな楽器?…小鼓の打楽器でありながら、一つの楽器で音色を変えられる、世界的に見ても類い希な構造や演奏法を紹介します。 4. 大鼓ってどんな楽器?…大鼓は小鼓とよく似ていますが、性質は全く正反対です。特徴と演奏法を紹介します。 5. 能楽囃子を聞いてみよう。…「安宅瀧流」を実演します 6. カケ声を掛けよう。…みんなでカケ声を掛けてみよう。どうしてカケ声を掛けるのか、掛けないとどうなるのかを解説します。 7. 小鼓と大鼓を体験しよう。…児童生徒達に実際に、楽器に触れていただきます。 <p>休憩 10分</p> <ol style="list-style-type: none"> 8. 能楽囃子を聞いてみよう。…公演当日に共演する「三番三」を実演します。 10. 小鼓を打ってみよう。…公演当日に、共演する「三番三」の小鼓を指導します。 11. 質問感想コーナー…不思議に思ったこと、興味を持ったことなど、何でもお答えします。 12. 終わりの挨拶…始まりと同じく居住まいを正してきちんと挨拶をします。 <p style="text-align: right;">(95分)</p>					
ワークショップ実施形態の意図	<p>西洋式の生活スタイルになった現代において、能楽は、日常から縁遠い芸術かも知れませんが、このワークショップは、和気あいあいと、子ども達とふれあいながら、能楽の基本を紹介します。子ども達には、能楽とは特別・特殊なものではなく、身近なものだと感じてほしいと思います。そして、日本の伝統的な姿勢やカケ声・間を知り、世界に誇る能楽の特徴を理解して、「肚を据えて、気を込める。」ことを体験することにより、日本人が元来持っている、芯の強さを身に付けて欲しいと思います。</p> <p>能楽は礼に始まり、礼に終わります。挨拶は、コミュニケーションの第一歩です。姿勢を正し、心を添えて挨拶することで、相手への尊敬を表します。互いに尊敬し合うことで、自他の存在を認め、心を開き近づくことができると知って欲しいと思います。</p>					

<p>特別支援学校での実施における工夫点</p>	<p>学校側と緊密に連絡を取り、事情に応じて、できるだけ可能な範囲でのワークショップを行い、公演につなげます。</p> <p>具体的には、解説を省き、カケ声体験。手拍子での囃子体験に重点を置く。実際に楽器に触れる、肌で感じる公演にする。楽器の共演が難しいときは、カケ声での共演にするなど、臨機応変に様々な形で、児童生徒達の心に残る、肌で感じる、公演・ワークショップにします。</p>
<p>実施可能時期 ◇はB区分申請団体のみ</p>	<p>実施可能時期スケジュール表をご確認ください。</p>

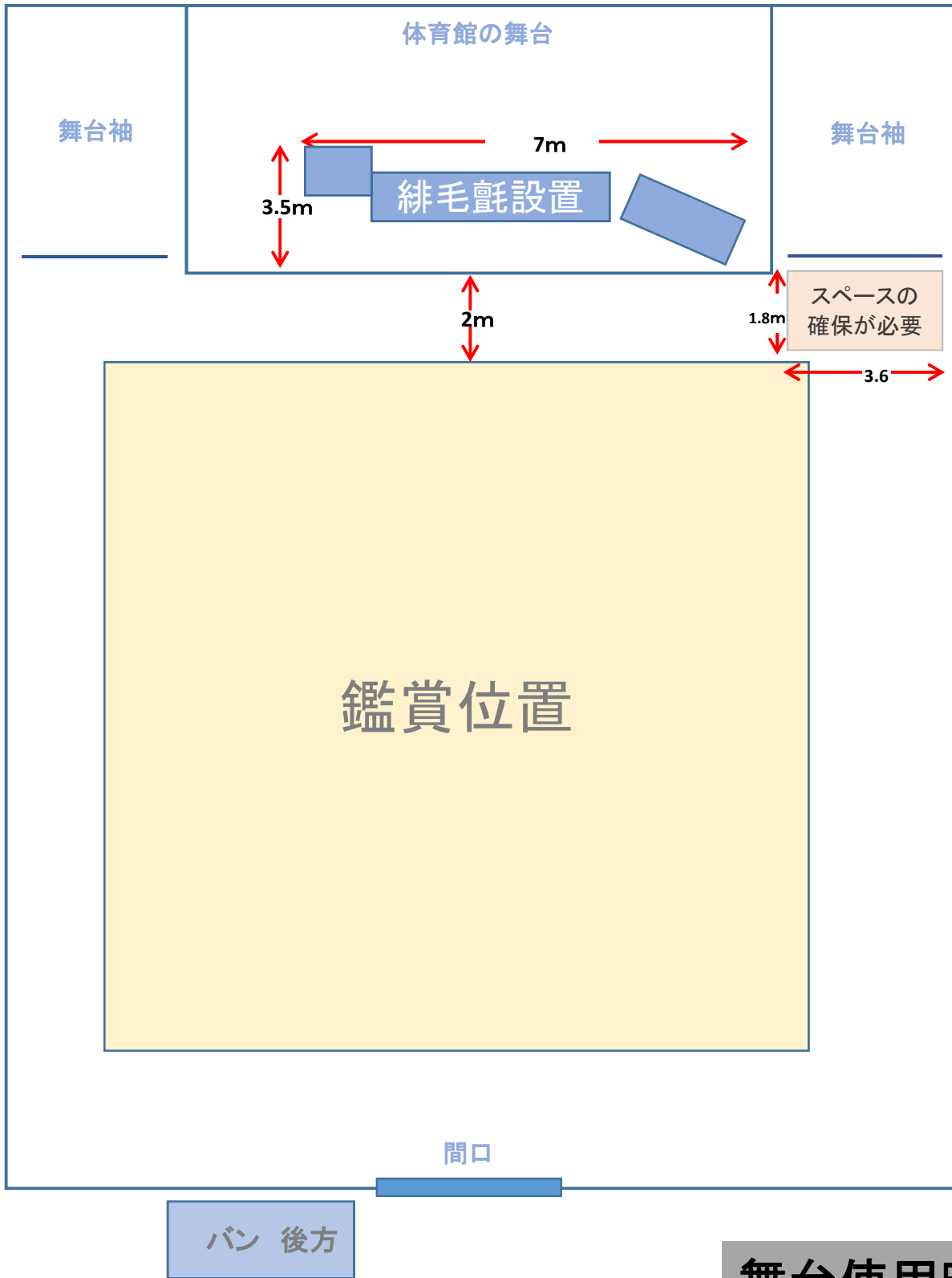
【平成31年度文化芸術による子供の育成事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	K123	分野	伝統芸能	種目	歌舞伎・能楽	ブロック	D・E	区分	C区分
公演団体名	一般社団法人京都能楽囃子方同明会				制作団体名	一般社団法人京都能楽囃子方同明会			

① 会場条件等についての確認

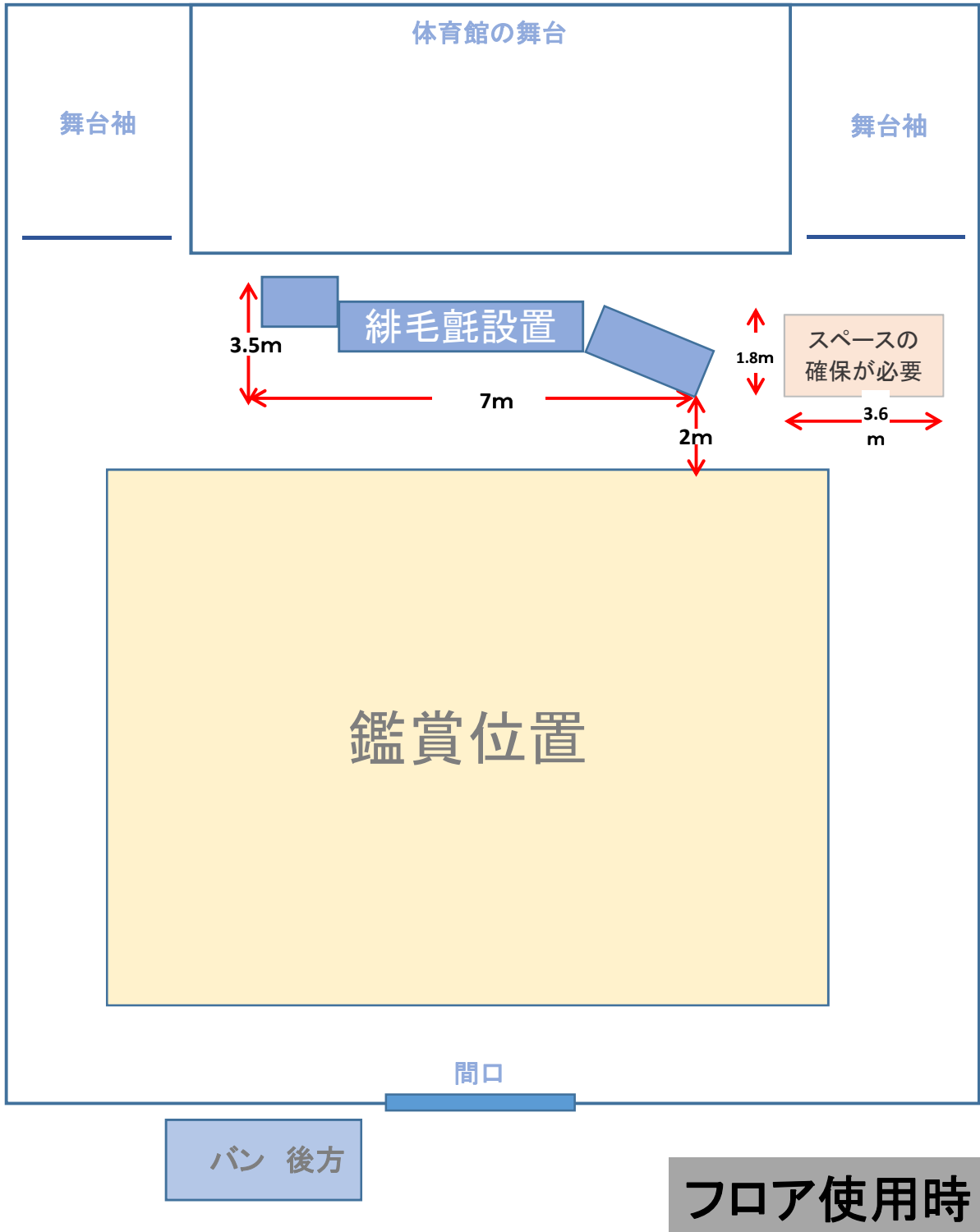
項目	応相談	必要条件等									
控室について	可	必要数 *	1室	条件	特になし						
搬入について	可	来校する車両の大きさと台数 *			バン	1台					
	—	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ									
	可	搬入車両の横づけの要否 *			不要						
	—	横づけができない場合の搬入可能距離 *									
	可	搬入経路の最低条件			特になし						
		理由									
		設置階の制限 *									
	可	搬入間口について 単位:メートル	幅	1.5m	高さ	2m					
WSIについて	可	参加可能人数			150名まで						
	可	学年の指定の有無 *			なし	指定学年 *					
	可	所要時間の目安 単位:分			95分						
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。						
	可	鑑賞可能人数			600名						
	可	舞台設置場所 *			ステージ上への設置・フロアへの設置ともに対応可能						
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル	幅	7m	奥行	3.5m	高さ	2m			
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの確保 *			不要			
	—				舞台袖スペースの条件 *						
	可				緞帳 *	不要		バトン *	不要		
	可	遮光(暗幕等)の要否 *			不要	理由					
	—	ピアノの調律・移動の要否	指定位置へのピアノの移動 *		不要	※指定位置は会場設置図面に御確認ください。					
	—		ピアノの事前調律 *		不要						
	可	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可						
	可	公演に必要な電源容量			不要	※主幹電源の必要容量					
	その他特記事項										

会場図面(表記単位:メートル)



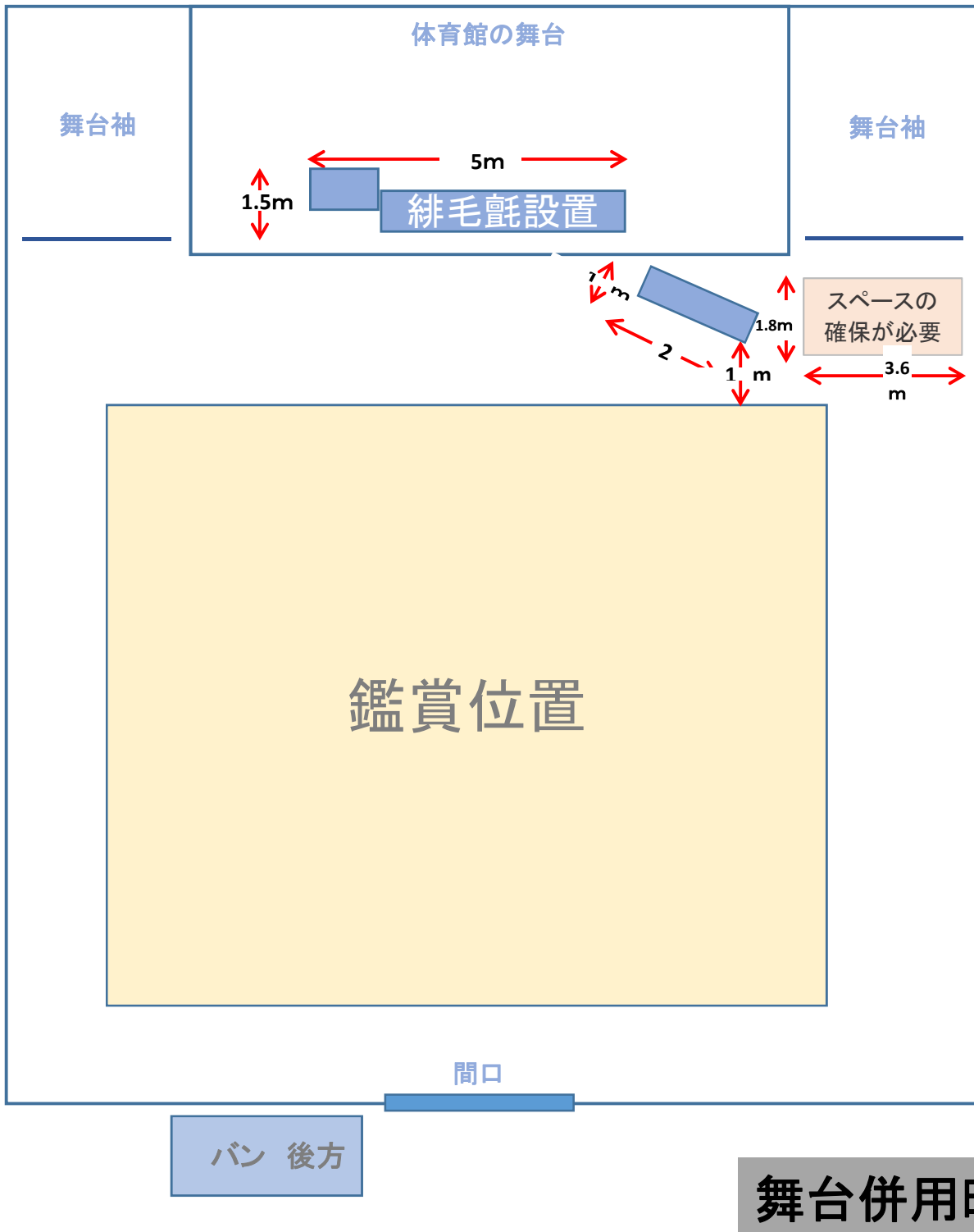
搬入間口について	幅	1.5m	高さ	2m
搬入車両の横づけの要否			不要	
横づけができない場合の搬入可能距離			特に条件なし	

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。



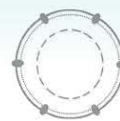
搬入間口について	幅	1.5m	高さ	2m
搬入車両の横づけの要否		不要		
横づけができない場合の搬入可能距離		特に条件なし		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。



搬入間口について	幅	1.5m	高さ	2m
搬入車両の横づけの要否		不要		
横づけができない場合の搬入可能距離		特に条件なし		

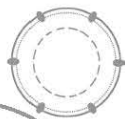
※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。



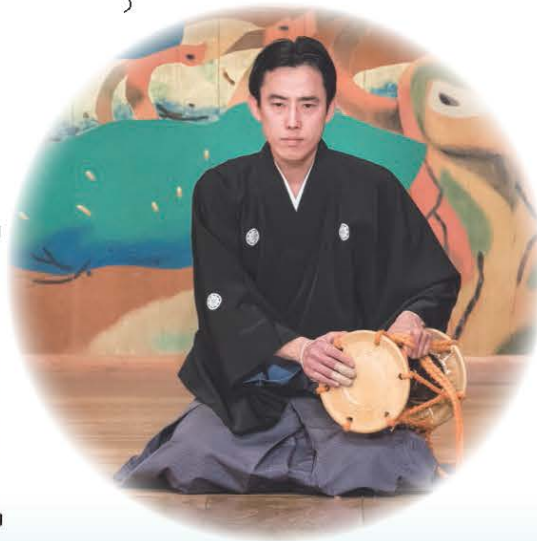
こえ
大きな声で
こえ
かけ声をかけよう!

は や し ど う
囃子堂

この国のクラシックを聴く



のうがくし いっしょ
能楽師と一緒に
ワークショップで練習した
さんばそう こつみ ほっぴょう
「三番三」の小鼓を発表しよう!



いっばんしやだんほうじんきょうとのうがくはやしかた
一般社団法人 京都能楽囃子方
どうめいかい
同明会

ぶんかげいじゆつ こども いくせいじぎょう じゆんかいこうえんじぎょう
文化芸術による子供の育成事業 - 巡回公演事業 -

わ くに いちりゅう ぶんかげいじゆつだんたい しょうがっこう ちゅうがっこうなど こうえん こども すぐ ふたいげいじゆつ かんしやう
我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する
機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の
げいじゆつかんしやうのうりよく こうじやう せくてき
芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。
事前のワークショップでは子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供た
ちにも参加してもらいます。

始まりの挨拶と音楽の歴史の紹介

各楽器解説

・ 笛、小鼓、大鼓、太鼓。楽器の秘密に迫ろう。

「早笛」

・ 軽快でハイテンポな登場の音楽を聴こう

カケ声で表現してみよう

・ カケ声を体験しよう。カケ声で何が表現できるかな？

能楽囃子の表現法

・ 囃子って、何をどんな風に表現するのかな？

能楽囃子の最高技法を体験しよう。

・・・休憩・・・

「三番三」共演

・ 五段豊稜を折って、一緒に演奏しよう！

「融舞」

・ 優雅な貴族の舞を聴こう。いろんな演奏テクニックが詰まっているよ。

「獅子」

・ 動と静。気迫。能楽囃子の真髄を感じよう。

質問感想コーナーと終わりの挨拶

スケジュール

	実施日程	実施校	地元主催者名
①	6月25日(月)	川口市立芝穂/瓜小学校	埼玉県教育委員会
	6月26日(火)	さいたま市立与野南小学校	さいたま市教育委員会
	6月27日(水)	春日部市立武里南小学校	埼玉県教育委員会/春日部市教育委員会
	6月28日(木)	白岡市立大山小学校	埼玉県教育委員会
②	7月2日(月)	加須市立水深小学校	埼玉県教育委員会
	7月3日(火)	美里町立東見玉小学校	埼玉県教育委員会
	7月4日(水)	佐野市立飛駒小学校	栃木県教育委員会/佐野市教育委員会
	7月5日(木)	高崎市立新町第二小学校	群馬県/群馬県教育委員会
③	7月9日(月)	東根市立高崎小学校	山形県教育委員会/東根市教育委員会
	7月10日(火)	東根市立大富中学校	山形県教育委員会/東根市教育委員会
	7月11日(水)	山形市立福山小学校	山形県教育委員会/山形市教育委員会
	7月12日(木)	那須塩原市立黒磯北中学校	栃木県教育委員会/那須塩原市教育委員会
④	9月10日(月)	石川町立石川小学校	福島県/石川町教育委員会
	9月11日(火)	須賀川市立大森小学校	福島県/須賀川市
	9月12日(水)	郡山市立宮城中学校	福島県/郡山市
	9月13日(木)	郡山市立三和小学校	福島県/郡山市
	9月14日(金)	福島県立相馬支援学校	福島県/相馬市教育委員会

出演

	①	②	③	④
笛	左鴻泰弘	左鴻泰弘	森田保美	左鴻泰弘
小鼓	林吉兵衛	吉阪一郎	曾和鼓堂	吉田知英
大鼓	井林久登	河村大	石井保彦	井林久登
太鼓	前川光範	井上敬介	井上敬介	前川光範
案内人	谷口正壽			

プロフィール

一般社団法人 京都能楽囃子方 同明会

京都能楽囃子の中心とする能楽囃子方の団体です。囃子方ならではの能楽公演「同明会能」や能楽囃子の音楽性にスポットを当てた「囃子堂」公演、ワークショップを中心とした「学校公演」、子供達だけで美演する「こども能楽囃子教室」など、次世代に能楽の魅力伝える活動を展開しています。大正7年の創立です。

ウェブサイト <http://noh-doumeikai.com>

はやしどう？

絵：まゆか



♪ 知ってますか? ~10月1日は「国際音楽の日」です~ ♪

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることにしました。